

開催日時：令和6年4月2日（火） 14時00分から15時20分まで

開催場所：A301・302会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、筒井議会事務局長、秦野教育次長、北澤消防長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

## 会議内容

### 1 理事者あいさつ

#### <市長>

- ・部長会議は理事者が考えていることを伝達する場ではない。国でいえば閣議であり、議論する場所でありたい。自身が所掌することだけでなく他の部局のことにも関心を持ち、様々なテーマに積極的な発言をお願いしたい。
- ・令和6年度は、いいだ未来デザイン2028の中期計画の最終年度であり、執行を着実に行うとともに後期計画を策定する年であるため、議論が大事な年である。
- ・10年後、30年後にこのまちをどのような地域にするのか、という飯田市の将来に向けた「まちの設計図」の議論もしっかり行いたい。
- ・「つながりの再生」は、地域における人と人のつながりを再生させることがテーマであり、自治基本条例の見直しを行うと同時に、内部的にも「つながりの再生」が重要なテーマである。年度初め式でも被災地の市役所を例に挙げ、「のりしろを出し合って」という話をした。現在の市役所の中では、全庁的に多忙感がある中で、のりしろが出ないという感覚を持っているかもしれない。そういう状況であればこそ、お互いの仕事を慮り、力を合わせていく雰囲気、姿勢はとても大事である。お互いに助け合い、チーム市役所としてのつながりをもう一度強くしたいという想いがある。
- ・仕事は中身が詰まっていって早いことが理想だが、どちらかと聞かれれば、詰まっていなくても早く仕事をしたい。軌道修正が必要な時に時間がないことは、致命的である。困りごとの際は、気軽に市長室、副市長室を訪ねてほしい。

#### <副市長>

- ・庁内としては財務会計システムの更新、デジタルの推進といった業務の推進・変革があり、人事的には職員数の確保や障がい者雇用などの課題がある。
- ・課題を乗り越えながら健全財政を維持していくためには、業務の見直しが必要となる。今年度から全庁挙げて全業務の見直しを行う。行革事務局と相談しながら、行革本部会議と部長会議で方向性を整理していきたい。
- ・大きな課題も小さな課題も、すべてが業務の見直しにつながっているし、のりしろが出てくることだと思っている。チーム市役所として全職員挙げて知恵を出し合って、みんなで協議し、業務の見直しをしたい。自分の経験を生かしながら意見を出し合い、来年度予算編成だけでなく、先を見据えて全体をどうしていくかを協議していきたい。

#### <教育長>

- ・部長会議の前に「これからの学校のあり方」について教育委員会内で議論をしたが、外から来た新しいメンバーのこれまでの経験からの意見があり、新しい視点が入ってきたことで議論が活性化した。
- ・各部局でも新しい方が入ってきていると思うので、これから議論を進めていくためにも新しい視点での意見を入れることが大事なことと思う。
- ・新しく部長になった方々も新しい視点で意見を出してほしい。

## 2 報告事項

### (1) 令和6年度飯田市予算執行方針について

#### ◇趣旨

令和6年度飯田市予算執行方針について報告する。

### (2) 組織目標と進行管理について

#### ◇趣旨

組織目標と進行管理について報告する。

### (3) 庁議等における事務の進め方について

#### ◇趣旨

庁議等における事務の進め方について報告する。

#### ◇意見

(市長)

- ・悩みがあれば電話やメールでも良いので早めに相談、共有してほしい。

## 3 その他、連絡事項

(企画部長)

- ・年度初めにつき、出納閉鎖の事務処理、交付金の申請等事務処理に漏れのないように配慮をお願いしたい。

## 4 閉会